

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/01 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//1.0
時間割コード / Time schedule code	20223803021501	科目番号 / Course code	38030215
科目ナンバリングコード / Numbering code	ID-ID-3-215-1-132		
授業科目名 / Course title	実社会課題解決プロジェクトC / Project Based Learning on Practical Problems C		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio, 宮本 道子, 北村 史 / Kitamura Fumito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio, 宮本 道子, 北村 史 / Kitamura Fumito		
科目分類 / Course Category	共通科目, コミュニケーション		
対象年次 / Intended year	3	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目では、グローバルおよびローカルな実社会の状況から課題を発見しチームでその課題を解決しようと試行錯誤する活動を通じて、課題を発見すること、解決の方略を計画立案すること、具体化・具現化をすること、評価をすること、改善をすること、といった実践手法を理解し修得する。プロジェクトCでは、2年次までに修得した知識・技能・志向性を基盤として、科学的な視点をもってエビデンスに基づいた評価をする力を伸ばす。また、改善のための建設的な議論をリードできるようになることを目標とする。		
授業到達目標/Course goals	a. 実社会の状況から課題を発見し、論点を整理して説明することができる。 b. 課題を解決するための計画立案において、建設的な議論をリードできる。 c. 2年次までに修得した知識・技能を活かして、具体的にモノ・コトをつくったり、実践したりできる。 d. 科学的な方法によるエビデンスに基づいた評価ができる。 e. 自立した判断によりプロジェクトの進捗を管理できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の活動後の活動ログ15回分 (60点) + プレゼンテーション課題2回分 (25点) + グループ活動への貢献点 (15点) = 100点満点のうち60点以上を合格 (単位認定) とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の設定されていない週であっても、学期中は金曜日 5 限の時間はグループでの活動のため確保し、プロジェクトを進めるための活動をするを単位認定のための事前事後学習とする。 課題には以下のものが含まれる。 文書や動画などの資料を閲覧視聴した後の電子掲示板ディスカッション グループでの準備活動 レポート作成、プレゼンテーション資料作成		
キーワード/Keywords	実社会課題、 Project Based Learning (PBL)		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、教材は授業ごとに、スライド資料、ワークシートを必要に応じて配付する。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	授業は2年生の取り組む「実社会課題解決プロジェクトB」と連携して進めるため、活動時間として金曜5限の時間帯を確保してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	この授業では、世の中に新しい価値を生み出すような発想や野心を歓迎しています。良いアイデアが生まれれば、それがそのまま仕事になる！ということも、まんざら夢物語とも言えないかも知れません。それもみなさんの取り組み次第。「一旗揚げてやろう！」そんな気持ちで、仲間といっしょに楽しいことを追求する機会にしましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、参画事業者の紹介、課題テーマ提示
第2回	チームの顔合わせ、自分たちの課題の設定
第3回	課題設定のつづき
第4回	活動
第5回	活動
第6回	中間成果発表会
第7回	活動
第8回	他チームとの意見交換
第9回	活動
第10回	活動
第11回	活動
第12回	活動
第13回	発表準備
第14回	フェイズ3 成果発表会
第15回	授業全体のふりかえり